

編集後記

皆様のお手元に届く頃には 2018 年の早春になっていることと存じますが、2017 年 12 月号（第 34 巻第 2 号）をお届けいたします。

巻頭言は水口仁志 先生にご執筆いただきました。2017 年度の JAFIA 各賞（学術賞 3 件，進歩賞 2 件，技術開発賞 1 件）の紹介記事は，JAFIA 事務局の石松亮一 先生にお取りまとめいただきました。ミニレビューは高柳俊夫 先生に，解説は竹内政樹 先生に，FIA フロントラインは村上博哉 先生にそれぞれご執筆いただきました。研究論文はロシアの Shpigun 先生のグループから投稿があり，嬉しく思っております。ご査読いただいた先生には，誠にありがとうございました。Christian 先生，高島章子 様，今任稔彦 先生，横山 崇 先生，樋口慶郎 先生からは，それぞれ報告記事のご寄稿をいただきました。Christian 先生の ICFIA 2017 報告記事では，手嶋紀雄 先生が全写真の挿入と書式の調整を行って下さいました。戸田 敬 先生には，監訳を務められた「クリスチャン Excel で解く分析化学」の新刊紹介をご寄稿いただきました。僭越ながら，私も著者の一人になっている「リンの事典」も新刊紹介させていただきました。学会情報は，竹内政樹 先生にお願いしました。

一方，パーソナルレビューでは，2 号続けて，お引き受けいただいていた先生方からご辞退のご連絡をいただきました。その理由は全く同じでしたが，私も定年になれば，膨大な書籍や資料を狭い拙宅に持ち帰るわけにもいかず，大部分は処分してしまうでしょうから，ご事情はよく理解できます。ご定年前の早い時期からお願いしておかなければと思いました。「指標」は京都電子の石原進介 様に執筆のご快諾をいただき，原稿を拝読するのを楽しみにしておりましたが，誠に残念なことに，ご逝去の報に接しました。謹んでお悔やみ申し上げます。

JFIA 編集委員長に拝命してから 2 年が経ちました。1) 本誌の学術誌としての価値の向上，2) 投稿規定の改定，3) 発行遅延の短縮を当面の目標に据えて務めて参りました。1) につきましては，すでにご報告いたしましたように，国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）の J-STAGE 登載誌として採択され，予定より早く 2017 年度中に搭載可能になる予定です。石松先生には申請手続きや説明会への参加をはじめ大変お世話になりました。J-STAGE 搭載により，記事には DOI（デジタルオブジェクト識別子）が付され，Scopus などの検索エンジンでヒットするようになります。2) に関しては，J-STAGE 搭載を機に広く海外からも投稿していただくために，現状との乖離が見られる和文・英文の投稿規定を大改定する必要性を感じています。すでにその原案を作成し，編集委員会メール会議にお諮りして，さまざまなご意見ご助言を頂戴いたしました。さらに煮詰めた上で，次号（35 巻第 1 号）にて公表できればと考えております。3) につきましては，今回も遅延短縮が果たせませんでしたが，徐々に正常化してゆきたいと存じますので，依頼原稿ご執筆の際にはご協力賜りますようお願い申し上げます。

来年度（2018 年度）編集委員会は，編集幹事の手嶋紀雄 先生が JAFIA 委員長に就任されますので，JAFIA 事務局で JFIA 編集にもお詳しい石松先生に同幹事をお願いすることにいたしました。これを除けば現編集委員会の陣容に変更はありません。引き続きお力添え賜りますようよろしくお願い申し上げます。

JFIA 編集委員長 田中秀治